

平成 22 年度佐々木研究所臨床研究発表会 開催報告

平成 22 年度、財団法人佐々木研究所付属佐々木研究所を構成する各臨床研究部門において、事業計画書に記載の研究課題を主な取り組みとして努力してまいりました。研究遂行の主体は、研究所研究員を兼任する附属杏雲堂病院の常勤医師並びにその他の医療従事者ですが、その成果を広く研究者の間で分かち合うべく、下記の要領で 2 日間にわたり臨床研究発表会を開催いたしました。今回から、理事、評議員の皆様にも開催のお知らせをし、多数の杏雲堂病院・研究所・財団関係者の出席のもと、成果の発表並びに活発な討論を行いました。

— 記 —

平成 22 年度 佐々木研究所 臨床研究発表会

日時：平成 23 年 6 月 28 日（火）午後 5 時～午後 7 時

平成 23 年 6 月 29 日（水）午後 5 時～午後 7 時

場所：佐々木記念ホール

内容：下記プログラム参照

（2011 年 7 月 8 日 附属佐々木研究所 所長 関谷剛男）

平成 22 年度研究所臨床研究発表会プログラム

平成 23 年 6 月 28 日（火） 17：00～19：05

17：00～17：05

佐々木研究所臨床研究について

○関谷剛男（所長）

17：05～17：25

当院における関節リウマチ治療の現況について

○金井美紀、鈴木智、仲野総一郎、山中健次郎(内科系臨床研究部門、内科)

17：25～17：45

難治肝癌に対するラジオ波焼灼療法

○佐藤新平(内科系臨床研究部門、消肝内科)

17：45～18：05

糖尿病入院患者における尿タンパクの変動

○五屋麻友香、新井美枝、山中健次郎、金井美紀（診療支援系臨床研究部門、検査科）

18：05～18：25

アロンアルファによる気管支充填療法

○高橋英介、金井恵美子（外科系臨床研究部門、呼吸器外科）

18：25～18：45

手外科最新の進歩

○富田善雅、ミユラー中嶋理子（外科系臨床研究部門、整形外科）

18：45～19：05

外科周術期における免疫応答と術後感染および術後再発

○川本 潤（外科系臨床研究部門、消化器外科）

平成 23 年 6 月 29 日（水） 17：00～19：00

17：00～17：20

大動脈後左腎静脈の一例

○太田岳樹(内科系臨床研究部門、放射線科)

17：20～17：40

子宮平滑筋肉腫症例に対する DG(Docetaxel+Gemcitabine)療法の有用性

○三宅清彦、岡本三四郎、秋谷司、茂木真 坂本優 (外科系臨床研究部門、婦人科)

17:40~18:00

子宮内膜癌および内膜増殖症の診断における簡易式内膜組織診と内膜細胞診の比較検討

○茂木真、岡本三四郎、三宅清彦、秋谷司、坂本優 (外科系臨床研究部門、婦人科)

18:00~18:20

がん特化病院における形成外科の役割：ビマトプラスト、レチノイン、RFの展望

○町野千秋 (外科系臨床研究部門、形成外科)

18:20~18:40

男性メタボ予備軍の食事記録についてカメラ付き携帯電話を利用した栄養指導の有用性についての一考察

○木藤有紀、榎本真理 (診療支援系臨床研究部門、栄養科)

18:40~19:00

ヒトがんメチル化DNAの単離技術の開発

○関谷剛男、宗形ミヨ (腫瘍ゲノム学系臨床研究部門、研究所)